

第4学年 算数科学習指導案

日時 12月16日(火) 3校時

(10:45～11:30)

指導者 下田 朋子

1. 単元名 パワーアップ「小数」(本時1/1)

2. 本時のねらい

- 端数部分の大きさを、小数を用いて表したり、小数の加減を計算したりすることができる。

3. 本時の実際

学 習 活 動	教 師 の 支 援
1. 本時の課題について確かめる。 「小数」のいいなあを使って、ドラえもんからの問題を解決しよう。	・日直の子どもが、「小数」を使って自分たちで問題を作り、指導主事の先生に解いていただくことをお願いします。 ・小数のいいなあ(端数の大きさを表すことができる、整数と同じ仕組みで表すことができる、基本単位を基にして整数の場合と同じように、加法や減法の計算をすることができる)を意識して学習することができるように、教室ノート(掲示)を見るよう促す。
2. 学習の終わりに、どんなことができているとよいのかを確かめる。	・単位をkmにそろえて正しく計算することができるようになることを板書する。早くできた場合は、自分で問題を作って、指導主事の先生に見ていただくことを確認する。
3. 自力解決する。 ①共通問題に取り組む。 ・○mの道のりを○kmに直す。 ・たし算の式を書く。 ・小数のたし算をする。 ②自分で選んだコースの問題に取り組む。	・悩んでいる子には、学校までの道のりを指でたどりながら、一緒に単位の換算をする。 ・暗算で難儀する場合は、筆算で計算するように助言する。 ・解決できた子には、「ドラえもんからの問題に挑戦コース」か「ぼく、ドラえもん問題作りコース」かを選んで取り組むように話す。 ・コースごとの学習の流れが分かるように、板書しておく。 ・計算コースの子どもを中心に、単位の換算、筆算が正しくできるように支援する。 ・問題作りコースの学習では、必要な情報がそろっているか、問いの文章になっているかを自分で見直すことができるようなシートを準備する。 ・「問題」「式」「答え」ができたら、指導主事の先生に紹介し、解いていただくように話す。
4. 本時の振り返りをする。	・より小数に親しむことができたという実感がもてるように、計算コースと問題作りコースの学習の様子を紹介する。